

湖東リハビリステーションでは、よりよい自立支援と介護負担の軽減に向けての専門相談サービスを提供しております。

生活機能向上と介護予防のための

在宅介護リハビリ相談



障がいや高齢による身体機能低下の方のケアプランにおいては、日常生活動作と生活環境への適切なリハビリテーション支援が、ご本人や介護者のQOLの向上に大きく影響していきます。在宅介護リハビリ相談では、起居・移動・移乗動作、車いすの姿勢保持や褥瘡予防などの生活機能に関する評価を、リハビリテーションの視点から行い、身体能力の生活環境への適応、介助技術、福祉用具等の導入を適切に支援していくことで、本人の生活意欲の向上をはかり、QOLの向上を目指します。

[主な相談内容]

より良い日常生活動作のために

起居・移乗・移動動作の相談

体位変換、寝返り、起き上がり、立ち上がり、車いすへの乗り移り、歩行などの基本的な動作に対して、リハビリテーションの考え方にに基づき活動分析を行い、動作や介助の方法、福祉用具や住宅改修などについて環境支援の方法を検討していき、生活機能の向上と介護負担の軽減を目指します。



より良く座るために

車いすシーティング相談

体の状態に合っていない車いすを使用していると、不良姿勢や活動性の低下になりやすく、痛みや褥瘡(じょくそう)の原因にもなります。ご本人の身体機能を評価した上で、適切に車いすとクッションの選択や調整をしていくことで、良い姿勢づくり、活動性と快適性の向上高めることを目指します。



より良い体位・体圧管理に向けて

褥瘡(じょくそう)予防相談

褥瘡の予防のためには、体の状態に適したベッドマットの選択や、より良い体位を維持していく必要があります。そのためには、体圧管理は重要です。簡易測定器で体圧をモニタリングしつつ、最適なマットの選択や体位の保持を検討していきます。



【介護リハビリ相談の流れ】

ご依頼(ケアマネージャー・ご本人・ご家族など)



<在宅訪問>
生活動作・住環境の把握
(活動分析)



動作や介助方法の検討、福祉用具の試用・プランニング、住環境の調整、リハビリテーション計画の提案など



経過観察(モニタリング)
・再検討

福祉用具室(テクノエイド室)

当施設には、起居用具、移乗移動用具、入浴用具、排泄用具、パーソナル関連用具など、約40種60点を保管しています。

訪問相談時には、これらの用具をケースの状況に応じて試用しつつ、最適な福祉用具プランニングができることを目指します。



相談対象(ご本人・ご家族)は、市内在住の方に限ります。年齢、介護保険サービスなどの利用の有無は問いません。在宅(同行訪問)で行います。(在宅での相談が困難な場合は、当施設内の相談室にて相談をお受けします。) 無料



東近江市 湖東リハビリステーション

住所：東近江市横溝町 1978-2
TEL：0749-45-3560
FAX：0749-45-2518

担当：河島(理学療法士・福祉用具プランナー)